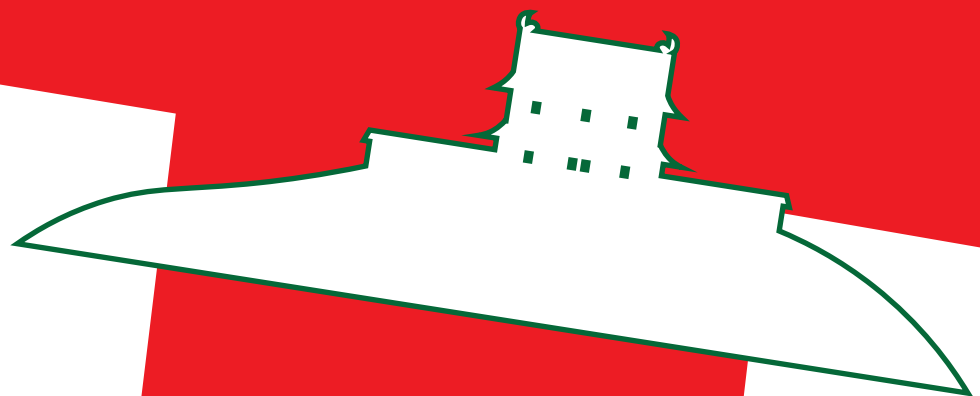


令和 2 年

3
月



第 3 期
中心市街地活性化基本計画
概要版



宇 都 宮 市

1 第3期中心市街地活性化基本計画の策定

1 計画策定の目的

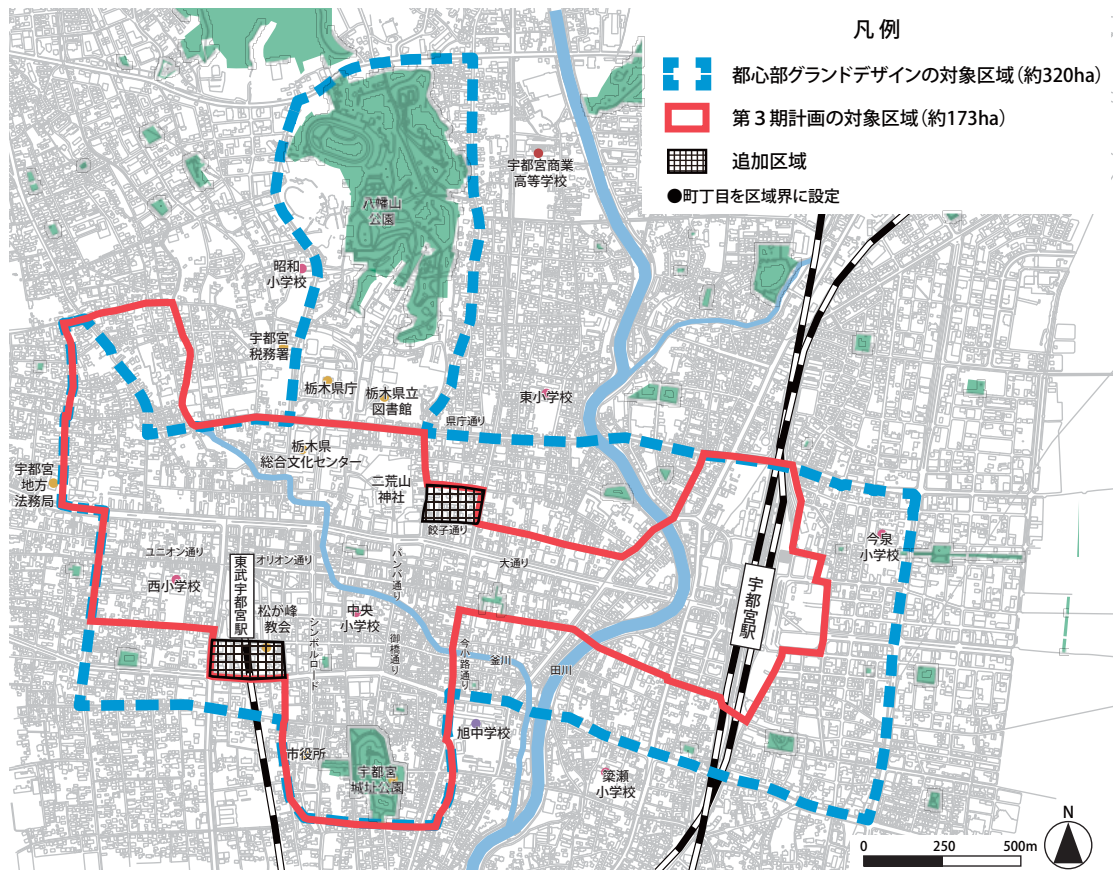
ネットワーク型コンパクトシティの中核となる「都市拠点」としてふさわしい活力と賑わいあふれる中心市街地の形成に向けた各種活性化事業を推進するとともに、LRT の導入も見据えた今後 10 年先のまちの将来を見通しながら、より一層の活力と魅力ある中心市街地の形成を図るため、「第3期中心市街地活性化基本計画」を策定します。

2 計画期間と計画区域

期間 令和2年4月～令和7年3月までの5年間

区域 約173ha

日本遺産に認定された「大谷石文化」の構成文化財や地域ブランドである「餃子」を最大限に活用した魅力づくりや回遊性の向上を図るため、以下の区域を追加します。



2 中心市街地を取り巻く環境

1 環境の変化

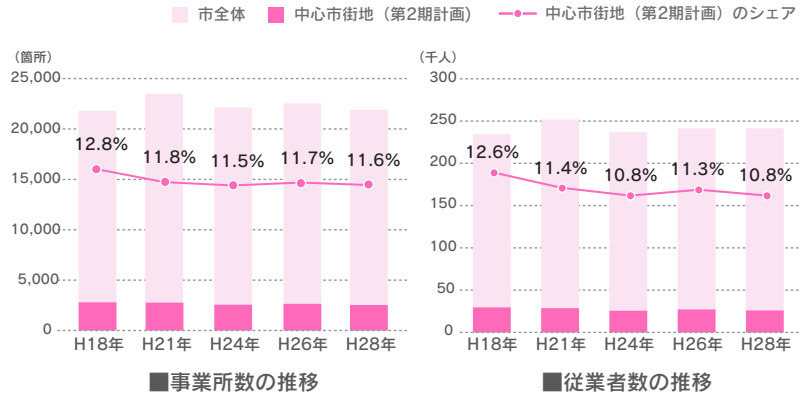
- 駅東側における LRT の開業
- JR 宇都宮駅東口地区のまちびらき
- 将来的な LRT の駅西側への導入
- 大谷石文化の日本遺産認定



2 中心市街地の現状

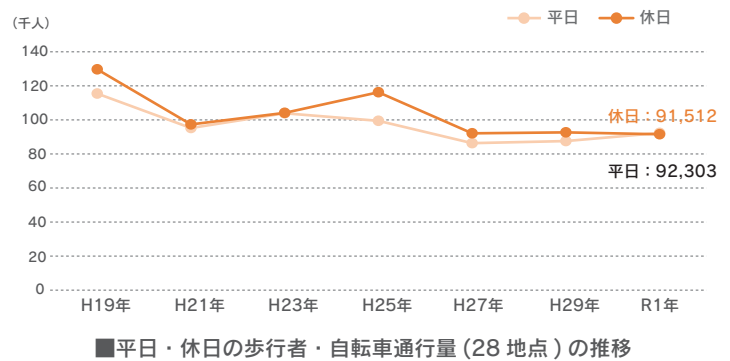
事業所数・従業者数

- 中心市街地には、釜川や二荒山神社等の資源や、食・文化芸術があり、市内外からの誘客を図るポテンシャルがあります。
- 大規模商業施設の郊外部の立地や、消費行動の変容、ICT技術の進展等に伴う経済活動の変容等を背景に、中心市街地の事業所数や従業者数等の経済活力を示す指標が減少傾向にあります。



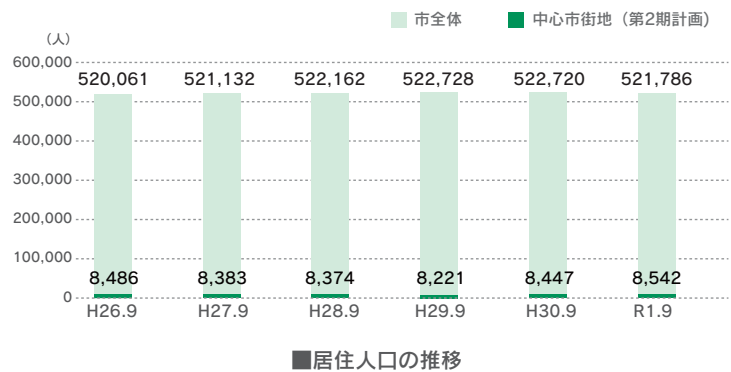
歩行者・自転車通行量

- 中心市街地では、コインパーキング等の需要が依然として高く、有効活用されていない土地が点在しています。
- 中心市街地の平日の歩行者・自転車通行量は、伸び悩んでいるものの、拠点広場等での多彩なイベントの開催や飲食店の増加等により、週末・夜間の通行量は増加傾向にあります。



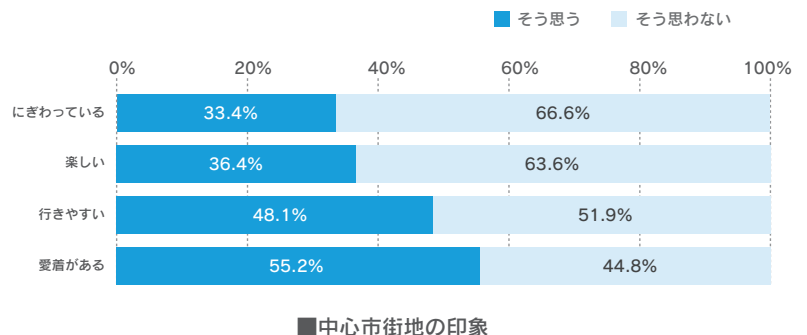
居住人口

- 中心市街地の人口は、大手地区市街地再開発事業等による分譲マンションの供給や家賃・住宅取得補助などの居住支援策などにより、回復傾向にあります。
- 中心市街地では家族世帯（夫婦と子どもがいる世帯）が少なく、単身世帯が多い状況にあるなど、世帯構成に偏りがあります。



印象 (市民アンケート)

- 中心市街地の印象について、「にぎわっている」「楽しい」と思う人の割合が4割以下にとどまっています。
- 「行きやすい」「愛着がある」と思う人の割合が5割程度になっています。



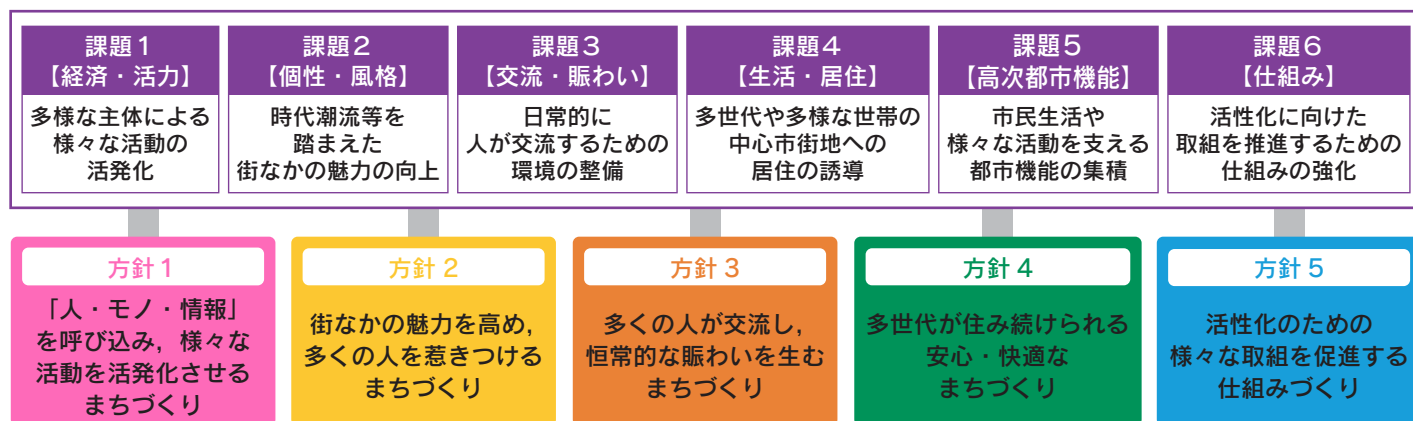
3 第2期計画の取組状況

期間	平成27(2015)年4月～令和2年(2020)年3月			
区域	JR宇都宮駅周辺及び東武宇都宮駅周辺を含む区域 約168ha			
将来像	「誰もが暮らしやすく 活力と賑わいあふれる中心市街地」～宇都宮らしい楽しさと まちの風格をそなえた街なかへ～			
目標達成状況	目標指標① 事業所数	基準値 H24(2012) 2,548事業所	目標値 H31(2019) 2,576事業所	実績値 H28(2016) 2,532事業所
	目標指標② 歩行者・自転車 通行量 (28地点)	H25(2013) 平日 99,428人 休日 116,189人	H31(2019) 平日 107,400人 休日 130,000人	H31(2019) 平日 92,303人 休日 91,512人
	目標指標③ 居住人口	H26(2014) 8,358人	H31(2019) 8,550人	H31(2019) 8,542人
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市街地再開発事業 ○釜川整備活用事業 ○公共空間を活用した賑わい創出事業 (オープンカフェ) ○低・未利用地の利活用事業 			
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所数や従業者数等の経済活力指標が減少傾向にあるものの、空き店舗が解消されつつあるほか、夜間の通行量は増加傾向にあるなど、活力創出に一定の取組成果 ○平日の通行量は伸び悩んでいるものの、休日・夜間の賑わいが創出 ○中心市街地の少子高齢化の傾向が顕著であり、家族世帯が少なく、世帯構成に偏りがあるものの、居住人口は増加傾向 			



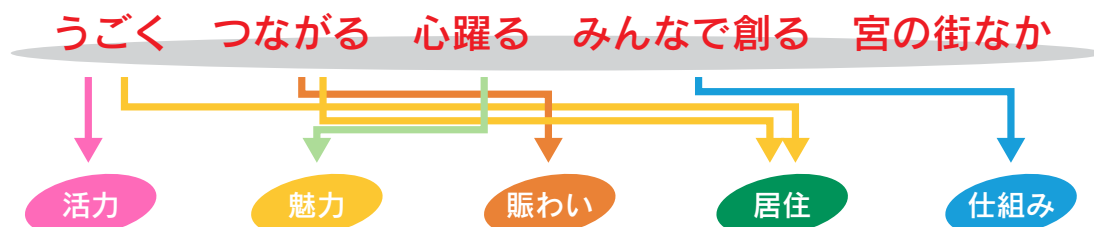
3 中心市街地活性化への課題整理と取組方針

中心市街地の現状や第2期計画の評価等を踏まえ、中心市街地の活性化へ向けた課題と、課題解決に向けた5つの取組方針を整理します。



4 中心市街地の将来像

中心市街地活性化の取組方針に基づき課題が解決された状態として、本市が目指す中心市街地の将来像を以下のとおり設定します。



5 施策と施策目標

中心市街地の将来像である「うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか」を実現するため、以下の5つの施策を設定し、それぞれの施策目標の達成に向け、各種活性化事業を推進します。

施策 1

様々な活動を活発化させる基盤づくり

活力

施策目標 誰もが多様な活動を活発に行い、活力に満ちた状態
目標指標 中心市街地内の事業所数

基準値 (H28)	目標値 (R6)
2,571 事業所	2,591 事業所

施策 2

都市拠点にふさわしい個性や価値の向上

魅力

施策目標 都市拠点ならではの個性や価値が高まり、魅力にあふれている状態
目標指標 中心市街地の終日の歩行者・自転車通行量 (平日・休日別, 11 地点平均)

基準値 (R1)	目標値 (R6)
平日 9,332 人/日 休日 8,934 人/日	平日 9,900 人/日 休日 9,700 人/日

施策 3

恒常的な賑わいを創出する環境づくり

賑わい

施策目標 誰もが楽しく回遊・交流できる環境が整備され、賑わいに満ちている状態
目標指標 中心市街地の終日の歩行者・自転車通行量 (平日・休日別, 11 地点平均) <再掲>

基準値 (R1)	目標値 (R6)
平日 9,332 人/日 休日 8,934 人/日	平日 9,900 人/日 休日 9,700 人/日

施策 4

安心して快適な住環境の創出

居住

施策目標 誰もが愛着と誇りをもって豊かに住み続けられる暮らしやすいまちが形成された状態
目標指標 中心市街地内の居住人口

基準値 (R1)	目標値 (R6)
8,703 人	8,940 人

施策推進のために

様々なまちづくりの取組を促進する仕組みの強化

仕組み

施策目標 多様な主体が連携・補完し合いながら、活性化に向けて実効性の高い多彩な取組を進めている状態
目標指標 タウンマネジメントによるコーディネートを行った事業件数

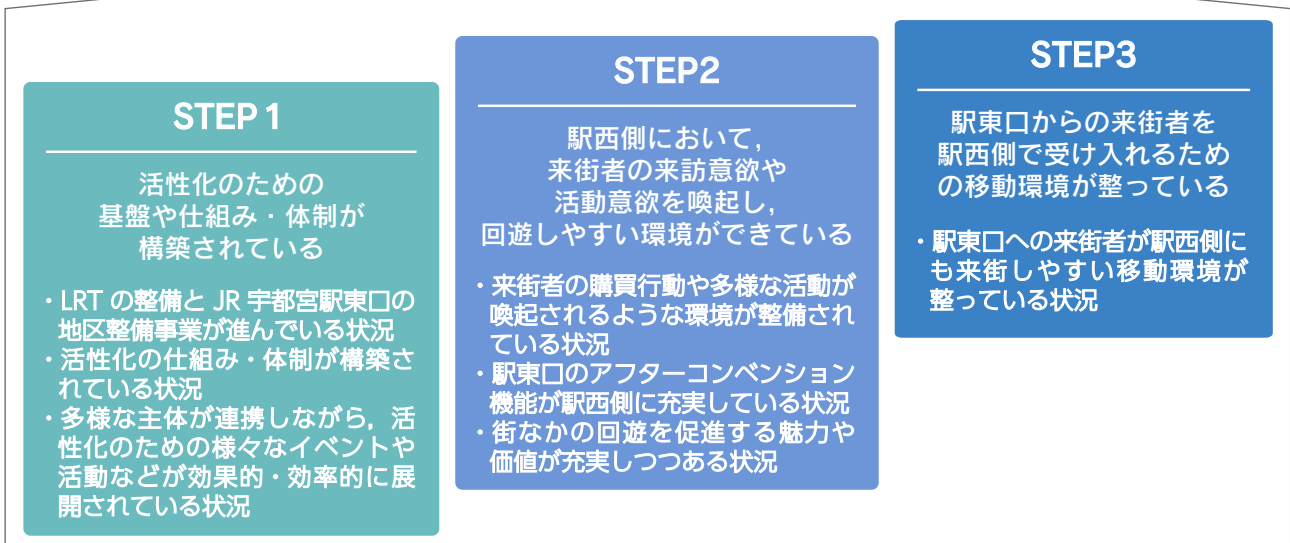
基準値 (R1)	目標値 (R6)
0 件	12 件

6 中心市街地の活性化戦略

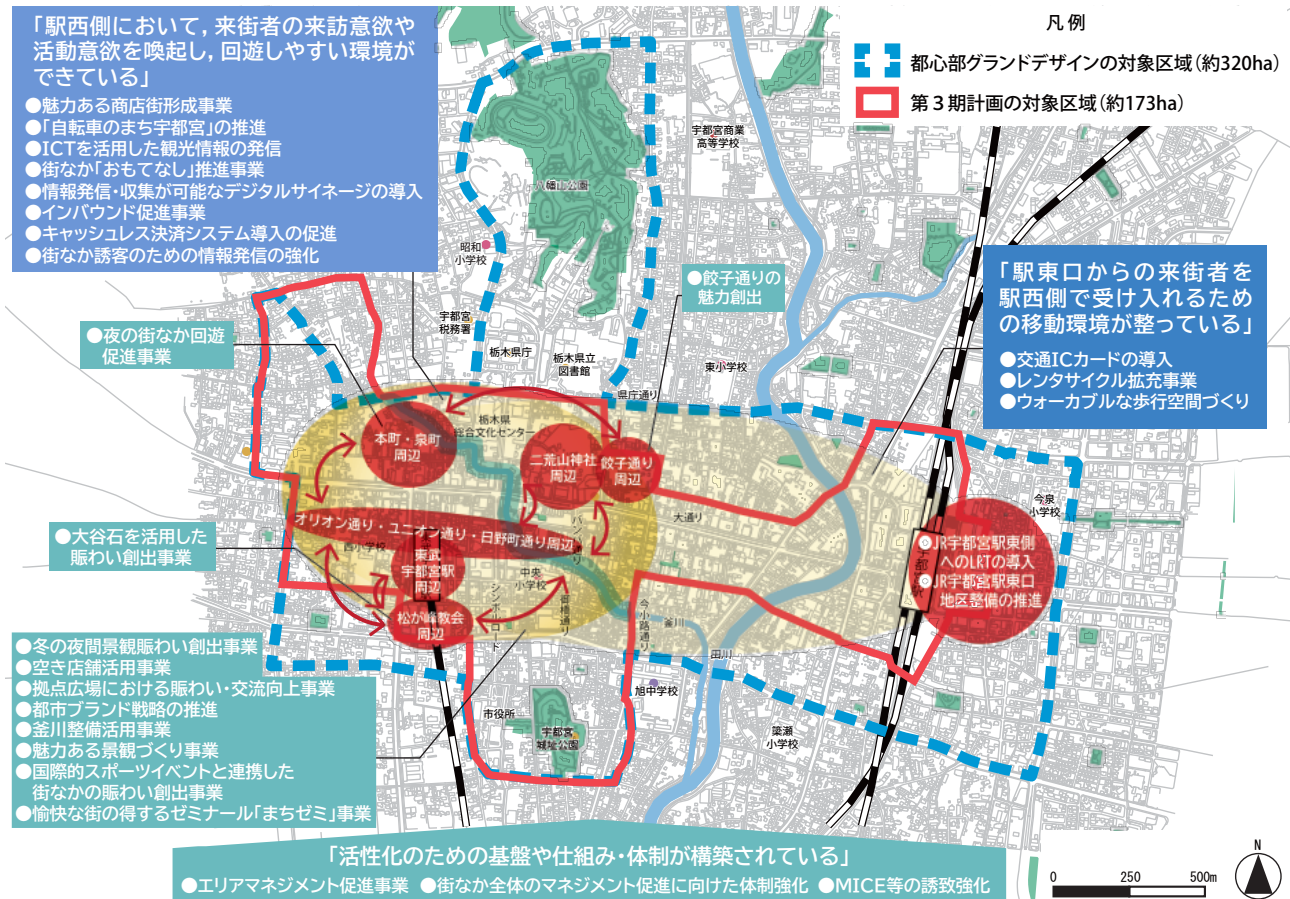
本市中心市街地の目指す将来像を実現するためには、総合的かつ一体的に活性化事業を推進していくことが重要です。特に、計画期間内に予定されている LRT の開業と駅東口のまちびらきによる様々な効果を中心市街地に波及させるため、また、LRT の駅西側への導入を見据え、まちづくりを効果的に進めるため、以下の活性化戦略に基づいて、活性化事業の効果的かつ着実な推進を図ります。

1 活性化戦略 1 LRT 開業と宇都宮駅東口地区のまちびらきによる集客効果を波及させる戦略プロジェクト

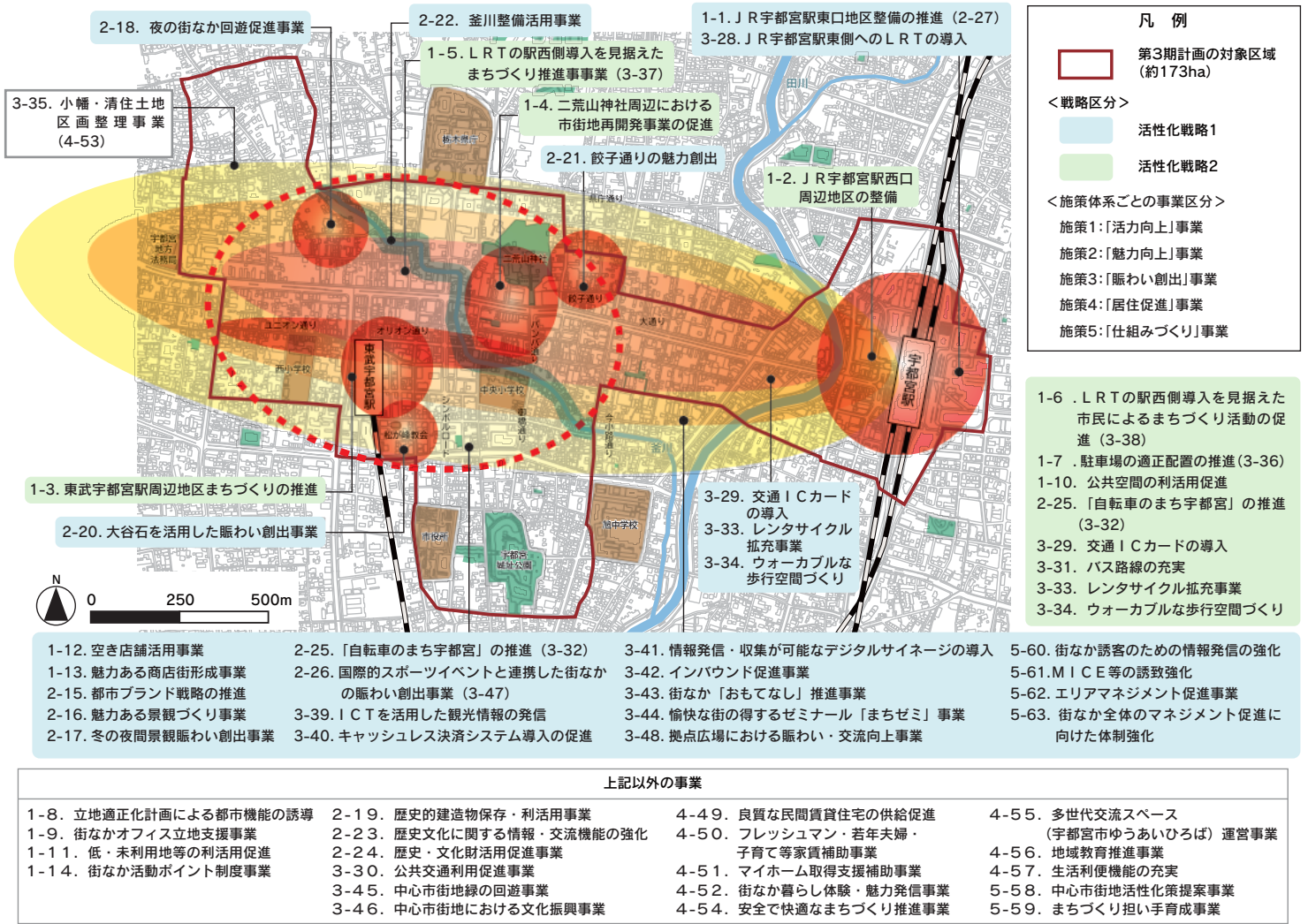
駅東口に集まる賑わいを中心市街地全体に波及



※STEP1 から STEP3 までの取組については、優先順位を意識しながら包括的に取組を実施することで、駅東口に集まる賑わいを中心市街地全体に波及させるための環境づくりを進めていく。

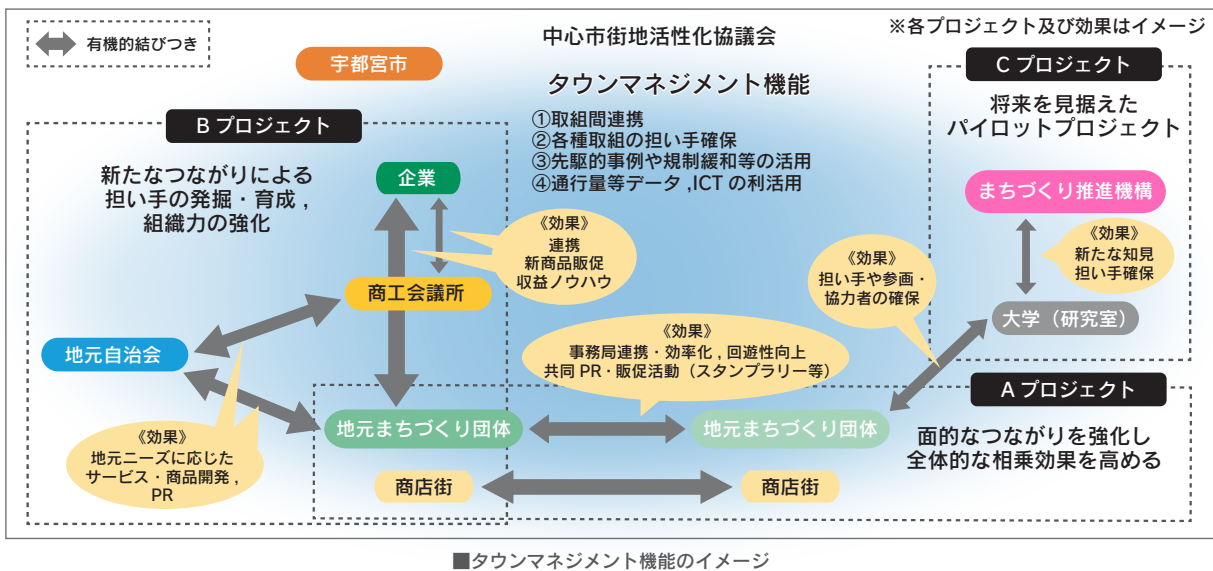


7 第3期計画における実施事業箇所図



8 活性化に向けた推進体制

中心市街地の活性化に向けて、関係者が一丸となり各種活性化事業を総合的かつ一体的に、また、より効果的・効率的に取り組んでいくため、各施策・事業の主体間のマッチングや更なる連携強化など、取組に対する助言や支援等のコーディネートを担う「タウンマネジメント機能」を強化し、まちの魅力や価値の向上、新たな担い手の発掘・育成などまちづくりの好循環を図ります。



お問合せ先

宇都宮市 総合政策部 地域政策室 中心市街地活性化グループ
 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号 TEL: 028-632-2109 E-mail: u2010@city.utsunomiya.tochigi.jp